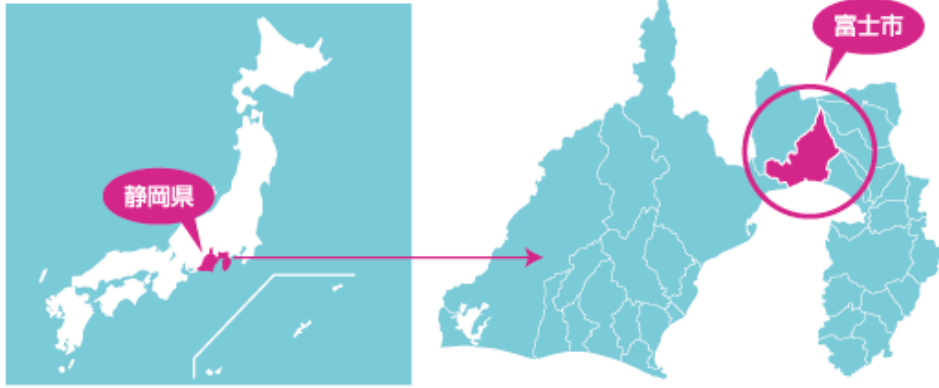




富士市の概要



富士山の麓にある
静岡県東部の中核都市

製紙業を代表産業とする 工業都市





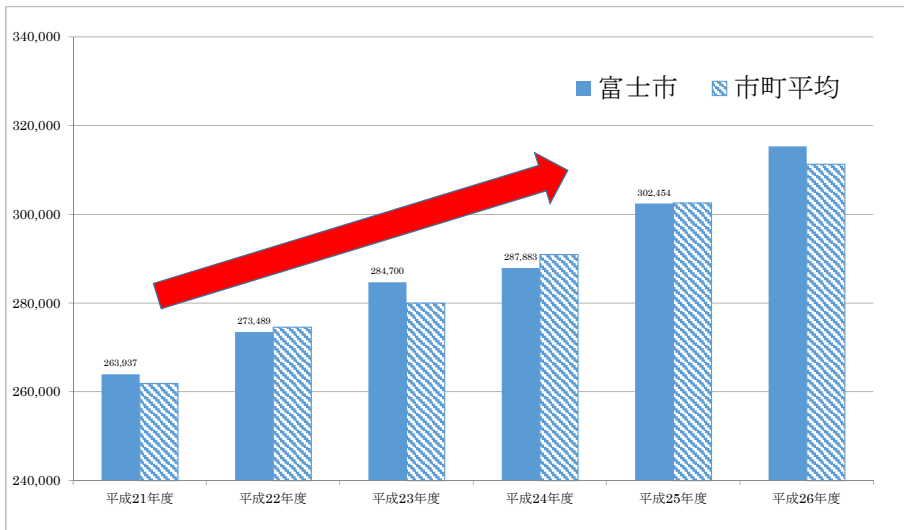
総人口 257, 215人 (高齢化率 24. 8%)
世帯数 101, 581件
出生数 1, 959人
死亡数 2, 354人

国保被保険者数 67, 451人 (加入率26.2%)
被保険者の52%が、60歳以上

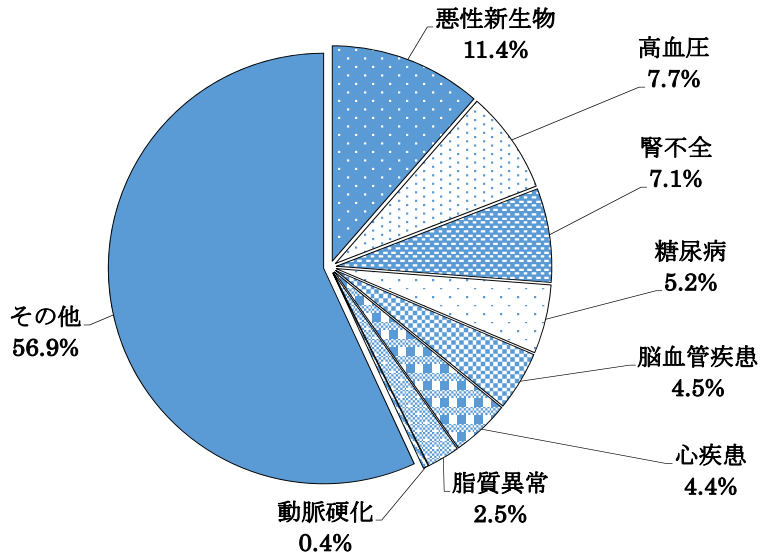
富士市の現状

一人あたり医療費

富士市 315,313円
県市町平均 311,309円



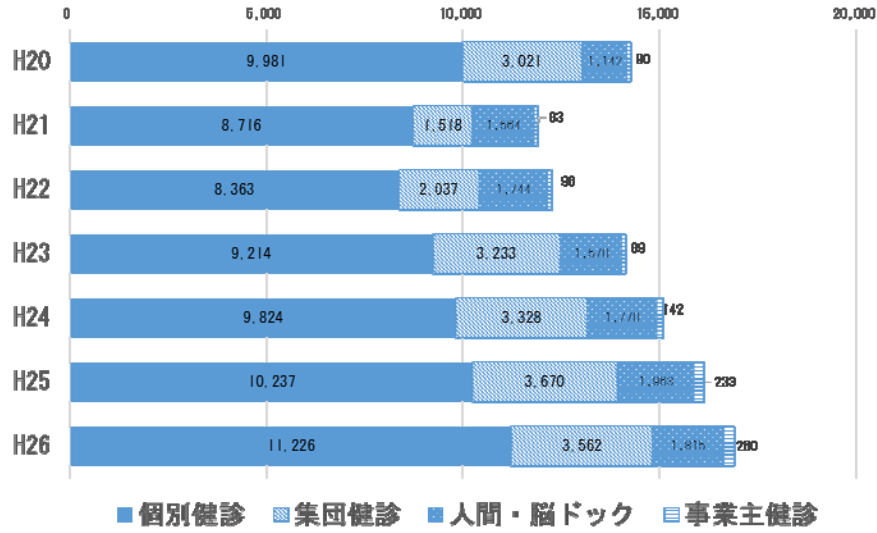
生活習慣病にかかる医療費 全体の約4割



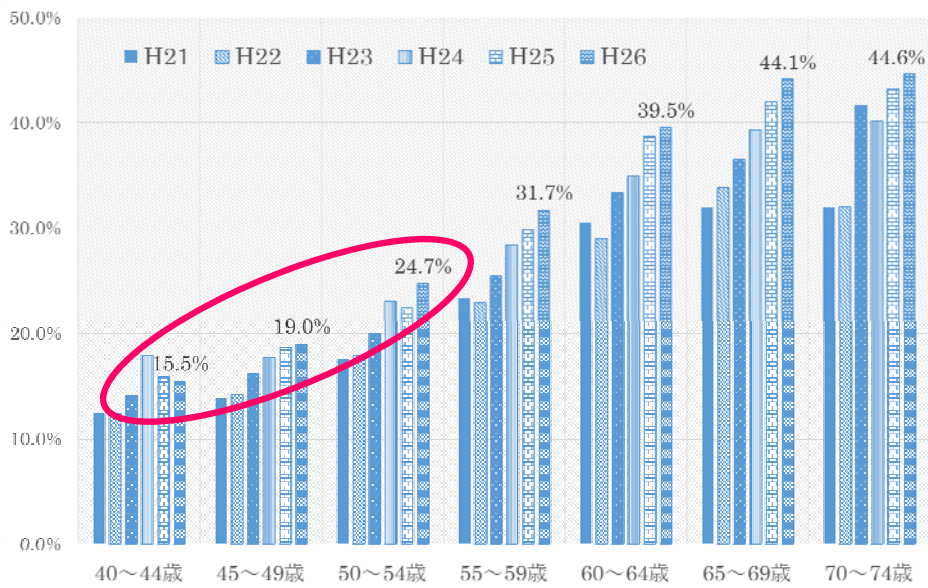
特定健診受診率

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
全国市町村国保	30.9	31.4	32.0	32.7	33.7	34.2	
静岡県市町国保	28.3	29.6	30.3	32.0	33.9	35.2	36.3
富士市国保	29.0	24.0	24.5	28.2	30.3	32.7	34.4

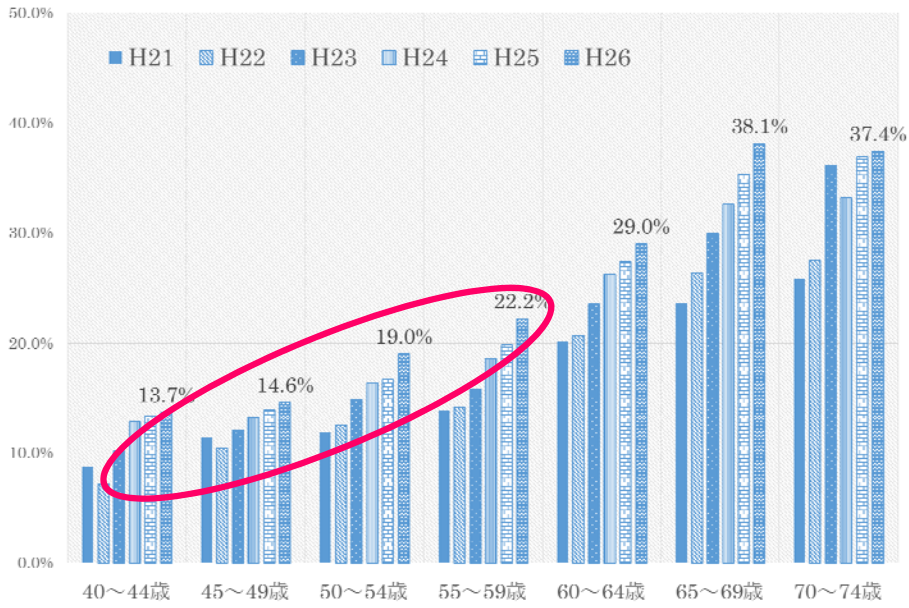
特定健診 健診区分別受診数の推移



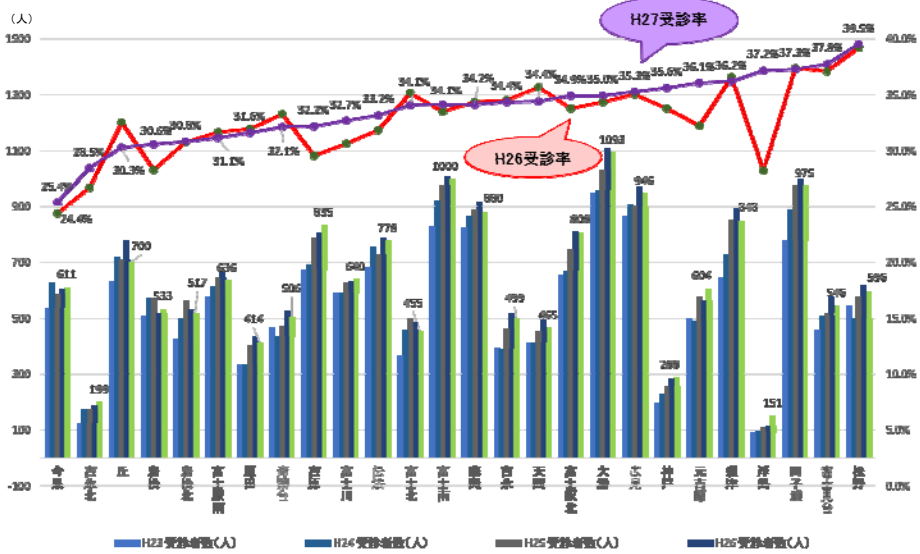
年代・性別の特定健診受診率の推移(女性)



年代・性別の特定健診受診率の推移(男性)



地区別受診率(H23～H27)



メタボや高血圧・腎機能異常が多い

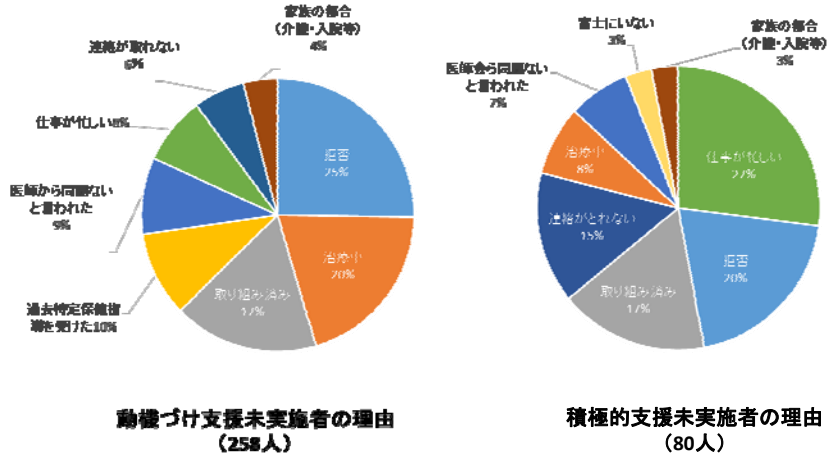
	富士市割合 (%)	県市町国保 平均割合 (%)
メタボ該当者	16.8	15.5
男性	27.0	24.5
女性	9.2	8.7
メタボ予備群	11.8	9.8
男性	18.6	15.8
女性	6.8	5.3

	受診者数(人)	血管を傷つける				腎機能	
		血糖	HbA1c	収縮期 血圧	拡張期 血圧	尿蛋白	クレアチニン
市町 平均	248,064	20.2	58.0	45.5	17.4	4.4	1.2
富士市	15,769	16.5	55.4	49.0	17.6	4.9	1.2

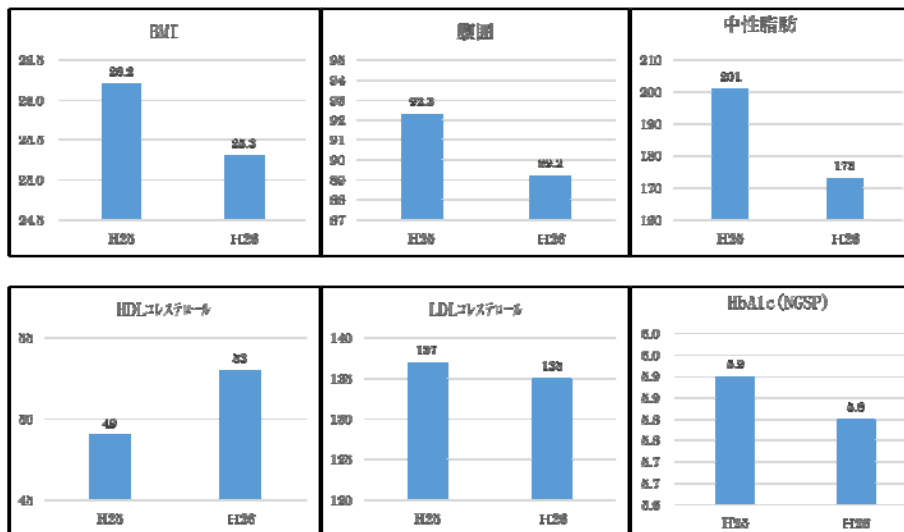
特定保健指導実施率

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
全国市町村国保	14.1	19.5	19.3	19.4	19.9	22.5	
静岡県市町国保	18.6	26.3	22.9	22.7	24.9	28.1	27.9
富士市国保	31.2	32.3	26.9	32.0	38.6	29.8	27.1

特定保健指導を受けない理由



特定保健指導前後の特定健診結果比較



データヘルス計画

データヘルス計画 目標

- 1 特定健診の受診率向上
(自己負担金の減額・日曜健診の実施・未受診者の戸別訪問)
- 2 特定保健指導の強化
(利用しやすい特保の提供・満足度の高い指導)
- 3 重症化予防
(CKD対策・血圧・HbA1c未治療者への受診勧奨強化)
- 4 がん検診の受診率向上
(特定健診とセット受診を啓発)
- 5 医療費適正化の推進
(ジェネリック医薬品の使用促進・医療費通知の送付)

目標値一覧

目標	内容	現状値	平成28年度	平成29年度
1	特定健診受診率（脱退・新規加入を含む）	33.1% (H26)	37.5%	39.0%
	再掲 40～50歳代特定健診受診率	18.8% (H26)	21.0%	23.0%
2	特定保健指導利用率（初回指導修了者）	26.4% (H26)	32.0%	33.0%
3	Ⅱ度、Ⅲ度高血圧の未治療者割合の減少	6.0% (H26)	5.5%	5.0%
	HbA1c6.9%以上の未治療者割合の減少	1.5% (H26)	1.3%	1.0%
4	大腸がん検診受診率	24.5% (H26)	26.5%	28.5%
	乳がん検診受診率	12.4% (H26)	13.0%	15.0%
5	後発医薬品(ジェネリック医薬品)切替率	58.5% (H27.8)	65.0%	70.0%

個別保健事業計画

既存事業と健康課題の関係 (データヘルズ計画との関係性)		事業目的	事業企画			
現状	課題		対象者	実施期間	事業内容	実施体制・方法
標準的な健診・保健指導のプログラムで定められた対象者に対して行っている。 (除外:健康対策課実施分は75歳到達者は実施せず)	脱落者を減らす ・外部委託実施機関の確保 ・質の向上を図る	特定保健指導を行い、対象者に生活習慣の改善を促すことで不適切な生活習慣が招く動脈硬化から起こる生活習慣病発症や重症化を予防できる。	標準的な健診・保健指導のプログラムで階層化され選定された者 積極的・動機付け支援	平成28年6月から平成29年4月	来所・地域のまちづくりセンター・家庭訪問による特定保健指導 内容:生活習慣の改善に対する個別の目標を設定し、自助努力による行動変容が可能となるような支援をする。健診結果の説明、受診勧奨の勧め、情報提供。	【実施体制】 成人保健担当保健師・管理栄養士及び国保臨時保健師・管理栄養士が実施 【方法】 ①対象者を抽出し指導対象者割り振り ②・対象者に結果が届くのと同時に利用券を送る。 ・届く頃電話をして利用の勧めを行う。 ・電話が繋がらない場合は、時間を変更して3回まで電話をかける。それでも繋がらなければ時間外にも電話をかける ・拒否される場合は電話で保健指導を行う。 ③対象者の都合にあわせた時間・場所で行う。来所・まちづくりセンター・家庭訪問等で面接を行う。 ④半年後成果の確認振り返りを行う。

個別保健事業計画

保険者名: 富士市 事業名: 特定保健指導(目標2:特定保健指導利用率の向上)

計画評価				
	ストラクチャー評価	プロセス評価	アウトプット評価	アウトカム評価
評価項目 目標値	<ul style="list-style-type: none"> 目標数値達成出来るような職員体制がとれる。 外部委託1～2医療機関増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の抽出 対象者の健診結果・質問票等からの問題把握 指導計画の作成 指導の実施 実施内容の記録 対象者に合わせた日程、実施会場の設定 家庭訪問により特定保健指導に繋がった数。 	<ul style="list-style-type: none"> 対象者に対する初回指導利用率32%(約522人)(利用率の向上) 	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導対象者の割合の変化を確認する。メタボリックシンドローム該当者の減少。 次年度の特定健診結果の変化(BMI・TG)
評価体制・方法	情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の満足度(初回・終了時アンケート)H26・H27年度で比較をする。 	対象者への指導実施状況を確認実施状況を集計	
実施時期	H28年6月から随時	H28年7月～H29年9月	月末	翌年

ポピュレーション アプローチ

富士市の健康状況をリーフレットにして、市民に説明

内容は？



1. 富士市の健康課題 **静岡県は健康寿命日本一**

・健康寿命とは

介護を受けたり寝たきりになったりせず、元気に過ごせる期間。国が3年おきに発表。

	男性	女性	男女計
健康寿命 <small>(平成24年厚生労働省発表)</small> 静岡県順位	71.68歳 全国2位	75.32歳 全国1位	73.53歳 全国1位

◆静岡県が健康寿命日本一になった背景

- ・**地場の食材が豊富**で食生活が豊か(全国トップクラス)
- ・全国一のお茶の産地で日頃から**お茶をたくさん飲む**
- ・**元気に働いている高齢者**が多い(全国4位)
- ・**温暖な気候**からくる穏やかな県民性



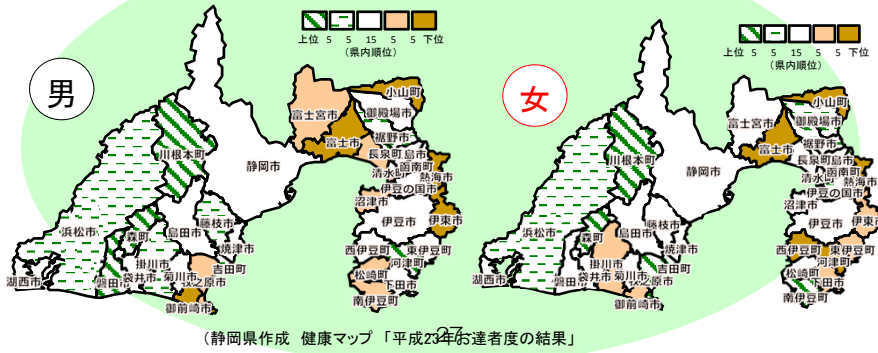
(静岡県発行リーフレット「静岡県は健康寿命日本一」より抜粋)

1.富士市の健康課題 お達者度で県内を比較

• お達者度とは

65歳から元気で自立して暮らせる期間。静岡県が独自に市町別に算出し毎年発表。健康指標の一つ。

• お達者度県内順位の比較 ～西高東低の傾向



1.富士市の健康課題 富士市のお達者度は

• 富士市のお達者度はワースト・・・



	男性	女性
お達者度 (平成23年 静岡県報告) (富士市の県内順位)	16.73年 (33位 ワースト3位)	19.85年 (31位 ワースト5位)

• お達者度が上位の市町の特徴

- 運動習慣がある人、大豆製品を食べる人、緑茶を飲む人が多い。
- 喫煙経験がある人や肥満に該当する人が少ない。
- 世代間の交流が多く、二世帯以上で居住する人が多い。

(静岡県ホームページより抜粋)

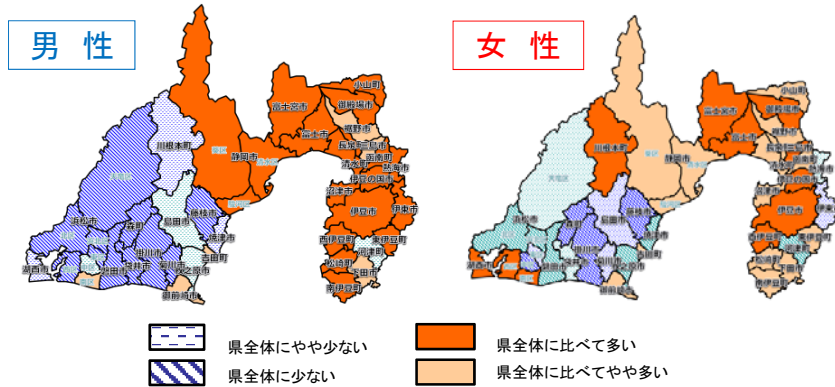
1.富士市の健康課題 **県東部に多い「メタボ」**

富士市は男女ともに「肥満者」が多い

◆「メタボ該当者」 県東部に高率



メタボ: メタボリックシンドロームの略。内臓脂肪型肥満に加え高血圧・高血糖・脂質異常がある状態。



平成24年度特定健診データ 静岡県提供

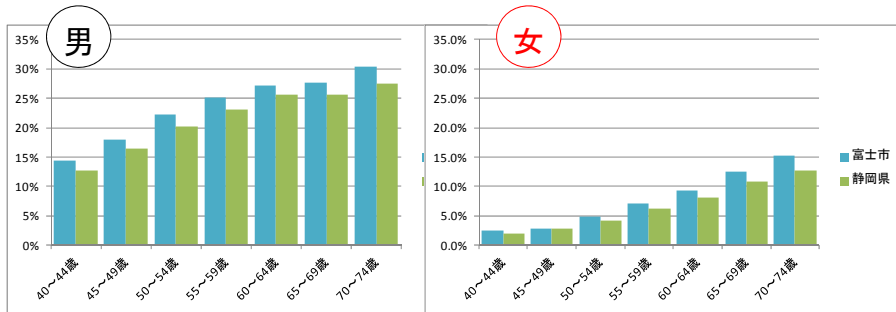
1.富士市の健康課題 **男性5人中2人がメタボ!?**

富士市は男女ともに「肥満者」が多い

◆「メタボ該当者」の割合
全年代で男女とも県平均より高率
女性より男性に多いメタボ



メタボ: メタボリックシンドロームの略。内臓脂肪型肥満に加え高血圧・高血糖・脂質異常がある状態。



平成23年度特定健診データ 静岡県平山朋氏資料提供

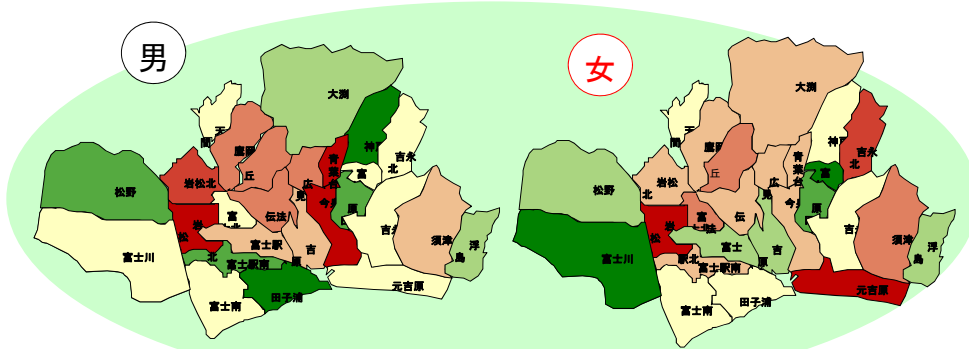
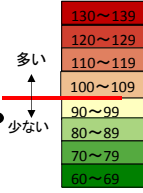
1.富士市の健康課題 「メタボ」地区別の比較

富士市は男女ともに「肥満者」が多い

◆「メタボ該当者」標準化該当比の地区別比較

地区格差大 生活習慣や環境の違いの影響は？

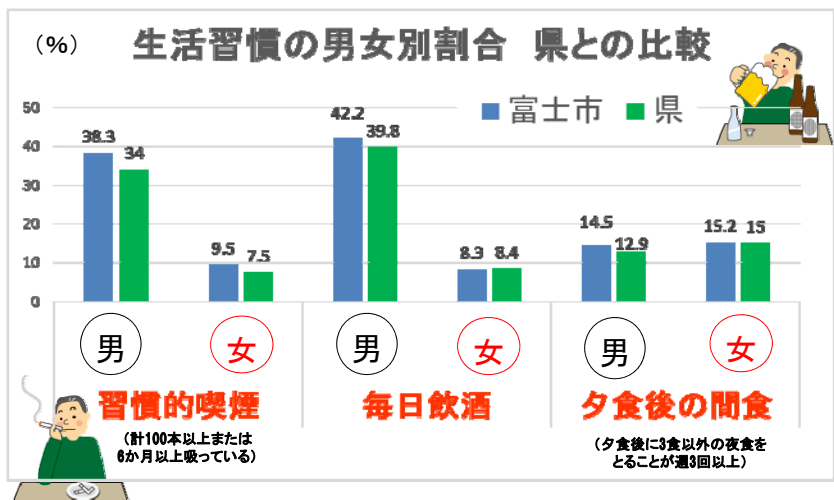
男性は市中央部に多い傾向



※市のメタボ該当者は対県では有意に多い。このマップは市の平均を100とした比較。

平成24年度特定健診データ

1.富士市の健康課題 富士市民の気になる生活習慣



平成23年度特定健診データ 静岡県提供

1.富士市の健康状況 高い死亡率『高血圧性疾患・糖尿病』

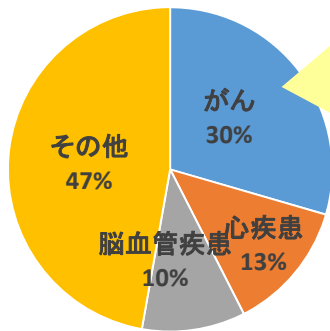
- 死因別死亡率(標準化死亡比) 県・国と比較
標準化死亡比:地域間で比較するため年齢構成をそろえて算出した死亡率

男性 死亡率がとくに高い病気		女性 死亡率がとくに高い病気	
高血圧性疾患	県の2倍 国の1.9倍	高血圧性疾患	県の1.3倍 国の1.5倍
糖尿病	県の1.5倍 国の1.7倍	糖尿病	県の1.5倍 国の1.7倍

平成19～23年 静岡県市町別標準化死亡比 静岡県後藤幹生氏資料提供

1.富士市の健康課題 年間700人が「がん」で死亡

- 富士市の三大死因の割合



平成24年 静岡県人口動態統計

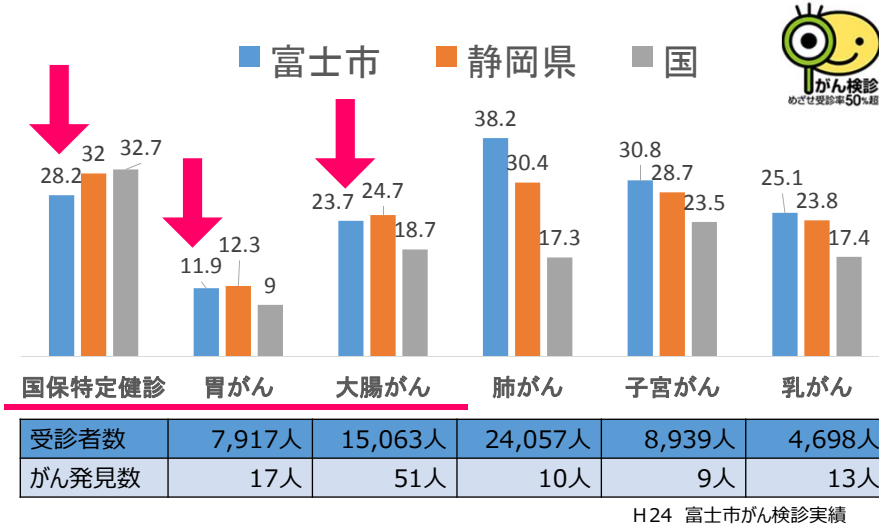
- 年間702人ががんで死亡

男性がん死亡	年間433人
女性がん死亡	年間269人
- 30～50代死亡の45%(年間90人)
働き盛り世代での割合が高い

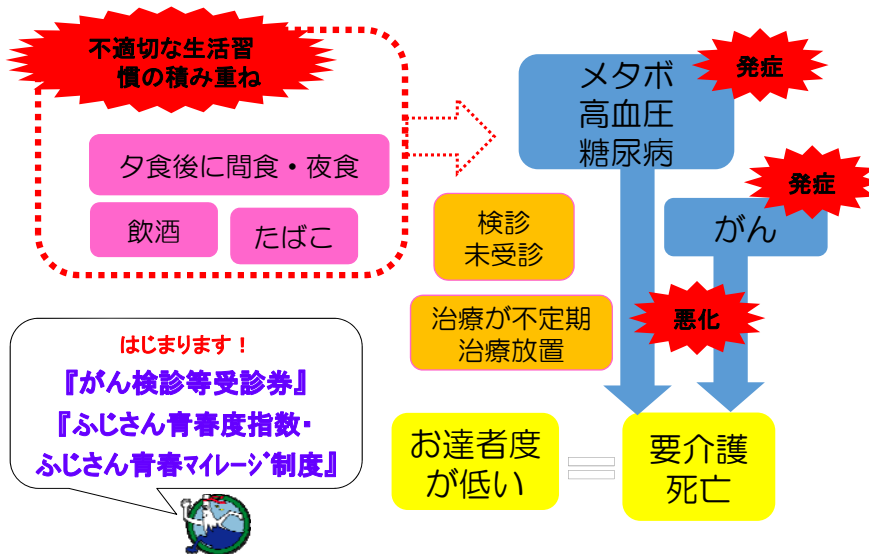
人口	25万2,925人
出生	2,078人
死亡	2,383人

H24がん検診・H23国保特定健診受診率 県・国との比較

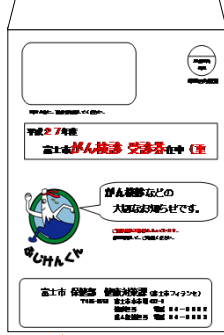
1.富士市の健康課題 がん検診・国保特定健診受診率



1.富士市の健康課題 健康寿命の延伸に向けて



2 .がん検診等受診券 **受診券**が一人に1枚発行されます



A4サイズの大きな封筒で届きます。4月の末頃に郵送します。



世帯ごと、ご家族の受診券をまとめて送付します。**受診の時は必ずお持ちください。**



受け方、場所、料金などが記載されています。

富士市の健康課題の改善のために

ふじさん青春度指数・ふじさん青春マイルージ スタート

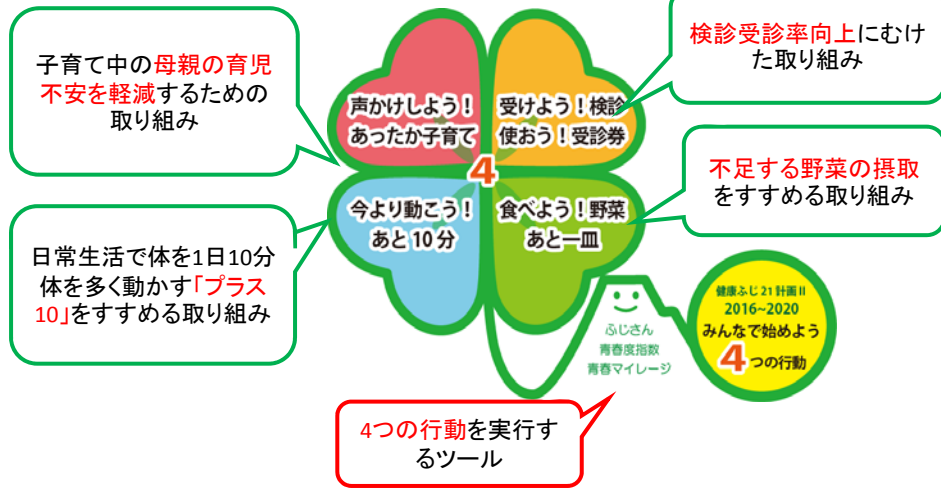
(H27.2月～)

(H27.4月～)



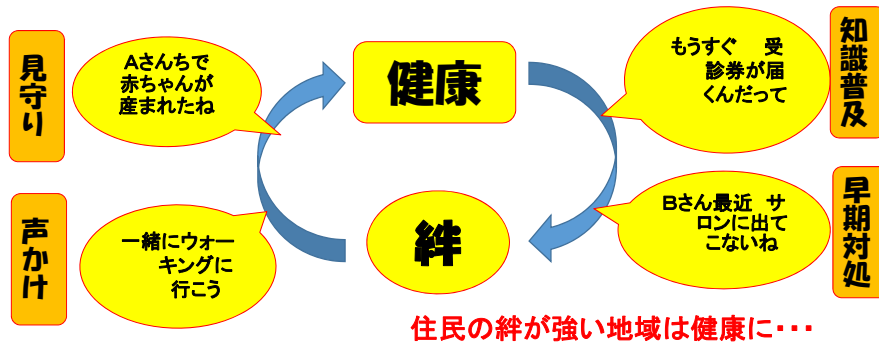
アクションプラン後期計画

重点取り組み～4つの行動とふじさん青春度指数・マイレージ～

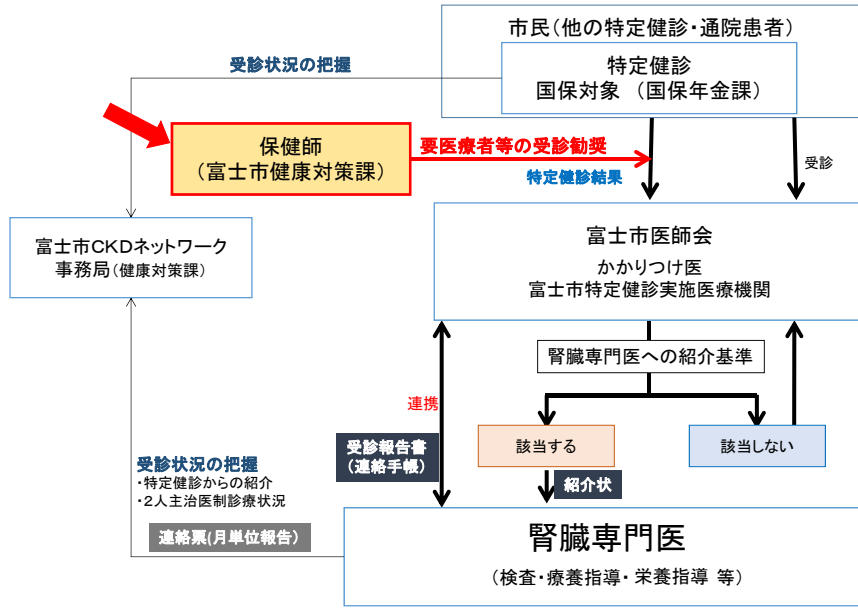


健康ふじ21計画IIのめざす富士市の将来像

健康で 笑顔あふれる 明るい富士市をめざして



【富士市CKDネットワーク体制図】



ご清聴ありがとうございました。